



大勢の県民の皆さんが応援している

女子バレー部日本一 男子サッカー部8強

阿部知事(前列中央)とともに記念撮影を行う、東京都市大塩尻サッカー部と女子バレー部(後列)

両部員が阿部知事を表敬訪問

全国大会に出場する東京都市大塩尻高のサッカー部青島友輝(3年)と女子バレー部の加藤奈々子(3年)両主将ら15人が21日、阿部守一知事(55)を表敬訪問した。阿部知事は「大勢の県民の皆さんが応援していると思う」と激励。両主将は県代表としての自覚を胸に、サッカー部は8強、バレー部は日本一へ意気込みを新たにしました。
(木村 揚輔)

加藤主将
加藤主将「拾ってつないで」
女子バレー部は「戦を迎えるチームの特長」5大会連続5回目の出場について、加藤主将は「全場。来年1月5日に1回、員で拾ってつなぐ粘り強



笑顔、でのプレ一を約束した女子バレー部加藤主将



決意を述べるサッカー部青島主将

都市大塩尻 大暴れ誓う

青島主将「まずは初戦突破」
2大会連続4回目の出場となるサッカー部。これまで3回戦に進出したことばなく、青島主将は「前回は初戦敗退という悔しい思いをした。まずは初戦(来年1月2日)突破を目標にし、自分の本来の目標である全国ベスト8を達成できるように頑張りたい」と、力を込めた。
チームの武器は攻撃力。県大会では6試合で26点を挙げた。しかし、知事は「県大会を見ると相手に点を取られていない。これは凄い」と全試合無失点の守備を称賛。青島主将が「無失点(は)自分たちの攻撃ができていない証拠だと思う」と話すと、知事は「強みを生かして戦ってほしい」と励んでいた。
表敬訪問後、「あらためて気持ちを引き締まった」と語った青島主将。「(守備は)自分たちの陰の強み。そこを見ていただけているのはうれし。全国では、粘り強い守備からどれだけ攻撃にいけるかがカギになると思います」と、知事の「お墨付き」を得た守りを攻撃につなげようと思気込んでいた。

さ」と説明。全国大会に向けては「雰囲気も明るく元気のある選手が多い。そういう部分を全国でも発揮できれば」と、試合を通じては「プレ一で上位進出を狙う。知事への決意表明でも「今年日本一という目標を前提に、一つ一つの試合で全力を尽くし、牽引してきたい」と、笑顔で約束。知事からは「加藤さんとお話したように、楽しんでリラックスして、持っている力を出し切るように頑張ってもらいたい」と激励を受けた。
主将は「頑張ろうって気持ちが強まりました。応援してくださる方が長野県にたくさんいらっしゃるの、日本一を獲って戻ってきたい」と宣言。14年に準決勝で敗れ惜しくも届かなかった頂点の座を今大会こそ奪おうとさらに闘志を燃やしている。

■この記事・写真等はスポーツニッポン新聞社の許諾を得て転載しています。
無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。
学校法人 五島育英会